

2021年11～12月号 カサ・デ・アミーゴス会報

事務所：〒411-0018 三島市初音台 4-7(代表自宅)

代表 高原 静子(携帯 090-4083-3281) TEL&FAX:055-972-1793

URL: <http://camigos.web.fc2.com/>

<https://www.facebook.com/casadeamigos1990>

E-mail: c.amigos2012@gmail.com 郵便振替: 00890-2-2473

倉庫: 〒411-0803 三島市大場 952-9

コロナ禍で揺れた今年もまた暮れる!

今年はどうな年だったでしょうか? 昨年末よりコロナ感染の第3波が襲い、1月7日から2月8日まで首都圏を中心に4都府県で第2回緊急事態宣言が発出された。その後更に感染が拡大、緊急事態宣言は地域を拡大し3月まで延長された。その後、コロナ感染はやや鎮まったと思ったら5月から6月にかけてコロナ感染第4波が襲った。7月末からのオリンピック開催が危ぶまれ、コロナ感染拡大の中で多くの国民は不安と生活苦の中で、オリンピックどころじゃないとの声が広がった。しかし政府は反対の声を押し切って実施した。

そのせいも有ったのか、8月に入ると新種のデルタ株コロナが猛威を振るい、各地で医療逼迫が発生し、患者が病院をたらいまわしにされ、自宅療養が余儀なくされた。それらはマスクでも大きく報道され社会問題となった。ところがその後、9月に入ると爆発的な感染拡大をしていたデルタ株コロナの感染が、見る見る縮小し、10月に入ると全国での1日当たりの感染者数が百人台に激減した。韓国やヨーロッパでは一日の感染者数が数千から1万人の規模で出ているのに、日本での感染激減は謎とされている。コロナワクチン効果と言われていたが、専門家の間ではそれだけでは説明できないとのことだ。ところが11月頃から南アフリカ由来の新種の株オミクロン・コロナが驚異的な感染力で世界中に感染しつつあるとのことだ。このオミクロン株が年明けにも日本で大流行し、第6波の到来となる恐れがあると警告が出されている。

2年続きのこのコロナ禍で多くの国民は疲弊し、回復の目途も見えない不安な1年でした。とりわけその影響は、ひとり親、母子家庭、非正規女性労働者、外国人労働者やベトナム人技能実習生等を直撃した。派遣、アルバイト労働が圧倒的に多い外国人労働者にとっては景気低迷で簡単に解雇され、今日、明日食べる食事に事欠く者が続出。解雇された労働者が新たな職を探すのも容易でなく、アミーゴスの食料支援は多くの外国籍の人達の救いの手になれたのは間違いないと思われる。

今年のアミーゴス食糧支援活動は、従来の2, 3倍以上をこなしたと思われる。加えて赤い羽根助成金の支給対象団体にも選ばれ、質・量とも大きく拡大した年になったと実感します。

暖かいお心のこもったご寄付等有難うございました。 ＜会費及び現金・物品等の寄付＞

09.20 相田 美代子 様	ご寄付	10.22 立正佼成会三島教会様	α米等
09.26 守屋 中 様	ご寄付	10.28 川村 汎子 様	ご寄付
10.01 四茂野 晴子 様	カンパ	11.01 Sr 寺田 和子 様	ご寄付
10.01 沼田 美智子 様	カンパ	11.15 浅川 隆子 様	ご寄付
10.06 清水町くらし安全課様	防災ご飯etc	11.15(プラハの風の音楽会) 細沼賢一様	ご寄付
10.08 寺田 富美子 様	ご寄付	12.12 浅川 隆子 様	ご寄付
10.08. 太田 真奈 様	カンパ	12.12 中塚 佳宏 様	カンパ
		12.13 福生病院 Sr 徳永 様	物品

予定とお知らせ

12月定例会 12月16日(木) 午後7時からカトリック三島教会

新年会 1月20日(木) 午後6時から食堂「バル」予定

(去年はコロナで中止となりました)

食品調達八潮行き 1月13日(木)、2月10日(木)、3月10日(木)

11月15日(月) チャリティーコンサート

このコンサートは、アミーゴス創設時から共に活動をしている細沼弁護士が主催する「プラハの風の音楽会」によるもので、三島プラザホテルにて「フルート・コントラバス・ピアノによるオータムチャリティーコンサート」と銘打っての開催でした。「プラハの風の音楽会」では、コンサート開催のたびに、アミーゴスの外国人支援活動に役立ててほしいと、その収益金を寄付していただいています。今回のコンサートも、「外国籍のこどもたちの学習支援のために」と多額のご寄付をいただきました。

「フルート・コントラバス・ピアノによるオータムチャリティーコンサート」



2021年11月15日(月)

開場 18:30 / 開演 19:00

会場 みしまプラザホテル本館
2階「プロヴァンスの九月」

主催 プラハの風の音楽会

出演 イジー・ローハン/コントラバス
渡邊浩代/ピアノ 川島祐子/フルート

曲目 ショパン/子犬のワルツ・幻想
即興曲 グリエール/ヴァイオリン
とチェロのための8つの小品 作品39
より

ラフマニノフ/ヴォカリーズ 他

<活動報告>

I. 10月、11月の食料支援活動の報告

I. 食品をみつめる活動 2021年10月、11月

- (1) 日本非常食推進機構様から防災備蓄食品のご提供 (10/27 大場倉庫直送)
保存水 500ml (24本入り)20 ケース、缶ベーカリー プレーン 1箱
マジックライス(青菜ご飯、わかめご飯、梅じゃこご飯、食入り各1箱)
- (2) 清水町、富士宮市から備蓄食品のご提供
 - ①清水町役場様から 10/6 備蓄α一米 40 ケースのご提供
 - ②富士宮市役所(危機管理局)様から 11/6 備蓄α一米 180 ケースのご提供
アミーゴスで 60 ケース、掛川の信仰希望愛グループで 120 ケース
- (3) ふじの国フードバンク様のご提供 (10/6 静岡事務所にて、約1tの食品受領)
ミストラルのトラックをお借りして、高原、ミサベル、水野がいました。
- (4) 報徳食品支援センター様のご提供
 - ① 10/7 減塩味噌パック 70 ケース他 軽トラで水口、水野が受領
 - ② 10/25 AGF コーヒーなど三島カトリック教会へ 2t トラック直送
報徳食品支援センター様手配により、236 ケースを受領しました。
 - ③ 10/27 小田原・報徳食品支援センターにて水野氏が受領
AGF 油、スパゲッティ、モンブランソース他
 - ④ 11/8 大場倉庫直送 エンジョイムース 100 ケース (クリニコ株、森永乳業株)
- (5) 2HJ(セカンドハーベストジャパン)様のご提供
 - A. 八潮倉庫での提供
 - ① 10/12 埼玉八潮倉庫で臨時提供 特盛り天ぷらそばドン兵三島教会へ搬入し、仕事帰りの外国人労働者世帯などに配布しました。
 - ② 10/14 埼玉八潮倉庫で月例提供 (高原さん、水口さん、堀さん)
 - ③ 11/11 埼玉八潮倉庫で提供
高原、菊池、水野の3名、ミストラルの2トラックで行って来ました。
日清のどん兵衛特盛天ぷらそば、烏龍茶、株主優待品セット、オーツ麦ミルク、チキンシチュー、にしん蒲焼、ひじき缶詰、とんがりコーン、ウォーターメロンジュース、鶏のトマトクリーム炒め煮用、豚のアンチョビガーリック炒め用、スタバスティックメディアムロースト、コストコパン、ドールバナナ、ふんわりプチケーキ(冷蔵)、えび屋さんのえびか(冷凍)、塩ゆでそら豆(冷凍)、チョコレートマカロンアイス(冷凍)
 - B. マッチングシステムによる提供(ネット申込、大場倉庫直送など)
 - ① 10/27 大場倉庫直送
きつねうどん(日本生協連)、こしあんまん・肉しゅうまい串(井村屋)
 - ② 11/8 大場倉庫直送 冷凍サケ切り身
 - ③ 11/24 大場倉庫直送 C0 盛岡冷麺2食 20 ケース

II. 食品を配る活動 2021年10月、11月

- (1) 10/12 埼玉八潮倉庫で臨時提供のあった「特盛り天ぷらそばドン兵」を三島教会に搬入し、同日夜間にフィリピングループ、日系グループなどに配布をしました。
- (2) 10/24 掛川グループ信仰希望愛へ大場倉庫で配布
掛川地区で活動する外国人自助グループ「信仰希望愛」へは定期的に食品提供をしています。カネシロさん、イトウさん、シバタさんがトラックで取りに来られます。
この日は、個別配付も行い、カンボジアの技能実習生(三島市安久)が倉庫に来ました。
- (3) 10/25 三島カトリック教会へ直送された AGF コーヒーなどを教会にて、同日午後、夕方にフィリ

ピングループ、日系グループに配布をしました。別途大場倉庫に保管し、順次配付をしていきます。

(4) 11/14 出張配布会 原団地で 27 世帯へ

原団地などで生活している外国人へ、スペイン語圏のリーダーなどがあらかじめ連絡を取り合い、団地駐車場で 27 世帯に配布をしました。富士市から 2 世帯の家族も参加しました。車がないなどで、大場倉庫配布会に参加できない人たちからは大変喜ばれました。配布会の様子を見に来た一般住民の人たちも食品がほしいようでしたが、「外国につながる人たちへの食料支援活動であること、あらかじめ招かれた人だけに配布するため」と説明し帰っていただきました。

(5) 11/21 大場倉庫配布会 39 世帯に配布

当日 12 時にスタッフが集まり、配布用に 25 箱を用意し食品詰めしました。

途中で配布用箱セットを追加し、最終は 39 箱の配布となりました。雨の天気予報のため、午後 2 時からの配布開始を早め、午後 1 時から配布をはじめ午後 3 時終了時には雨が降りだしましたが、早めに配布ができ、食品をぬらさないで配布することができました。配布会に参加された皆さん、お疲れさまでした。

(6) 個別の配布会

上記の集団配布会の他に、大場倉庫での随時個別配布、御殿場や市内外への訪問個別配布を行っています。食品提供をいただきました、セカンドハーベストジャパン様、報徳食品支援センター様、フードバンクふじのくに様、日本非常食推進機構様、富士宮市役所様、清水町役場様、味の素 AGF(株)様、森永乳業(株)・クリニコ(株)様などなど、ご支援、ご協力に感謝を申し上げます。また、集める人、配る人、もらう人、それぞれにありがとうございました。

事務局からの報告

12/8 大場倉庫で炭酸水 300 ケースの荷下ろし、入庫、配付作業を行いました。

午前 9 時に 4 トラックが榛原郡吉田町より大場倉庫へ到着。

作業に参加された人は、アミーゴス会員の他、地区でひとり親や生活困窮者の支援をしている組織、団体、障害者福祉施設関係、御殿場地区の外国人支援をしている外国人などなど 18 名です。

皆さん、大変てぎわが良く、約 30 分で荷下ろし、入庫が終了しました。つづけて、各団体、組織に配付です。これも手際よく 10:15 には配付を終了しました。

その後アミーゴスでは、三島教会をお借りして、地区の外国人に配付のため、約 80 ケースを三島教会に運搬し、教会ホールに一時保管をし、作業は 12 時前に終了しました。

フィリピン人、スペイン語圏、ポルトガル語圏などの外国人、労働者は午後、夕方、仕事帰りにもらいにきます。コロナ禍の長期化で、仕事がへった人、仕事につけない人など、家族の生活も大変です。早くコロナが終わるように祈念します。

静岡県下外国人を支援する 4 団体交流会報告

11 月 27 日(土) 2:00~4:00 焼津カトリック教会



出席 志太榛原地区の外国人の人権を考える会 戸塚、カサ・デ・アミーゴス 高原、ダリオ、ナンシー、ルイサ、岡本、室伏、平野、水口

欠席 浜松遠州労働者ユニオン・静岡アジアを考える静岡フォーラム

交流・討議

・出席者の簡単な自己紹介

・戸塚さんより、浜松の岡本さんは労働組合の大会とかち合い欠席。静岡代表横山さん仕事があり欠席、松谷さんは連絡が十分届かず。

・掛川にブラジル人 30 人位、焼津にはペルー人 20 人ほどでフィリピン人が多い

・静岡労働組合の西田さんがいなくなったので活動が少ない。シスターアンナマリアに相談しお願いしている。

・南米からアジアの人(ベトナム・フィリピン)が多くなってきた。ベトナムの小・中学生に日本語

を教えている。

- ・コロナ禍でも失業者はあまり聞かない。リーマンの時は失業してブラジル人など大多数の人が帰る。
- ・フードバンク活動で9月には生活困窮者19箇所に食品を送る。掛川も月1回取りに来ている。
- ・赤い羽根共同募金会の助成金を利用して多くの人に支援ができ喜ばれている。
- ・コロナワクチンのオーバーステイの人達の接種では、入管に通報しないことを確認してから受けている。住民票を持っていない人も接種できる。

アミーゴスで8名の参加で戸塚さんを驚かせたが、アミーゴスは外国の人も会員に加わり若い人も入っている。どの会も高齢化や後継者不足に悩むところだが、その心配がないと思う。活動も他の会より活発化している。これから少子高齢化により労働者不足を補うために外国人の労働力がより求められる社会なのではないか。そのような状況に4団体は、情報交換して活動を継続し交流会も残すべきと感じた。

水口英男

<以下スペイン語に翻訳>

Publicado por Yoko Nozawa · 31+0S0 dgea 5novoiintemb20sre a 136atus 2323:03 ·
Informe sobre la reunión de intercambio de cuatro grupos que apoyan a residentes extranjeros en la prefectura de Shizuoka En la iglesia católica de Yaizu Sábado 27 de Noviembre, 2:00-4:00
Asistencia: Asociación para los Derechos Humanos en el distrito de Shita Haibara Totsuka
Casa de Amigos in East Takahara, Dario, Nancy, Luisa, Okamoto, Murofushi, Hirano, Mizuguchi
Ausente: Sindicato de Trabajadores de Hamamatsu Enshu y Foro Shizuoka para Asia.
Dado que Nishida-san del Sindicato Laborista Shizuoka ya no está con nosotros, hay pocas actividades. Le hemos pedido a la hermana Annamaria que nos ayude.
Ha aumentado el número de personas de América del Sur a Asia (Vietnam y Filipinas). Estamos enseñando japonés a estudiantes vietnamitas de primaria y secundaria.
No hemos oído mucho sobre el desempleo debido al coronavirus. En el momento de la crisis financiera de 2007-2008, la mayoría de los desempleados, incluidos los brasileños, se fueron a casa.
Como parte de nuestras actividades en el banco de alimentos, enviaremos alimentos a 19 personas necesitadas en septiembre. Un grupo de Kakegawa también recibe la comida una vez al mes.
En el caso de la vacuna contra el corona para los que permanecen más, confirmamos que no serán reportados ante las autoridades de inmigración antes de recibir la vacuna.
Las personas que no tienen tarjeta de residencia también pueden ser vacunadas.
El Sr. Totsuka se sorprendió al ver a 8 miembros de Amigos. Todas las asociaciones están luchando con el envejecimiento y la falta de sucesores, pero no tenemos que preocuparnos por eso. Nuestras actividades son más activas que las de otras asociaciones. Para compensar la escasez de trabajadores debido a la disminución de la natalidad y el envejecimiento de la población, la mano de obra extranjera será cada vez más necesaria en nuestra sociedad. En tal situación, sentí que las cuatro asociaciones debían intercambiar información, continuar sus actividades y mantener reuniones de intercambio.

Hideo Mizuguchi (Casa de Amigos)

<原団地での食糧配給>

11月14日、原団地の駐車場で27家族に食糧を配給しました。スペイン語を話す指導者たちは、原団地などに住む外国人と事前に連絡を取りました。富士市から2家族が来ました。車がないために大場倉庫に行けなかった方は大変喜ばれました。配布を見に来た近所の人も食べ物を欲しがっていましたが、その食べ物は外国と繋がっている人だけのものだと説明しました。



子供料理教室

12月4日、子供たちと一緒にパエリアを料理する。私たちのキッチンリーダーはペルーのルイサ夫人でした！ペルーでは、パエリアはお祝いのために作られています。ルイサさんは海の近くに住んでいて、パエリアやエビ、シーフード、魚の料理がとても上手です。子供たちはこれまでパエリアを調理したことがありません。



ルイサさんは彼らにそれをする方法を教えます。
フライパンでオリーブオイルを熱し、にんにく、玉ねぎ、あさり、イカ、パプリカ、エビ、ムール貝をゆっくりと炒めます。塩で味付けします。
スープを試してみてください。
最後にご飯を入れて弱火で炊きます。
その後、パエリアが出され、みんなで楽しんだ。
とても美味しかったです。
パエリアの作り方を教えてくれたルイサさんとお母さんたちに感謝します。
この「パエリアを子供たちと一緒に料理する」は、「子供たちの食と自立」をテーマにした、赤い羽根財団の「フードバンク支援助成金」の支援を受けたアミーゴスのプロジェクトです。

労働相談---4件の労災案件

- ① 中国籍の女性バス運転手は2019年3月富士急行に採用され3ヶ月の研修に入った。片言の日本語だからか、入社当日から酷いイジメ・パワハラが始まった。2019年11月にバス運転中に軽い接触事故を起こし、上司からクビだと言われ、うつ病を発症した。病院の診断書も「職場におけるイジメ・パワハラが原因」とされた。しかし、社内調査では「パワハラは無かった」との結論。本人は翌年3月10日に解雇された。2020年12月、ユニオンに加盟し、会社側と団体交渉を行ったが、会社側はうつ病発症の責任を拒否。2月にダメ元で労基署に労災申請を行った。当初は無理と思っていた労災が、11月に認定された。今後は本格的に会社の責任を追及していくこととなった。
- ② 富士宮のS社に契約社員として勤めるポリビア籍のTさんは工場内の通路を歩いている、通路にはみ出していたパイプ状の物に足を取られ転倒、骨折した。労災事故扱いとなったが、ユニオンに加入して団体交渉を行った。会社側の安全義務違反を追及したところ、会社側は「安全義務違反は無く、本人が勝手に転んだと主張」この労災事故の原因をめぐり再度の団体交渉が12/16行われる予定。
- ③ 沼津市の派遣会社から、派遣先のI社に派遣され働いていたペルー系女性のHさん、工場内で前が見えない位積み上げた重い台車を押していたところ、後ろから来た同じような同僚の台車に追突され、右足をひどくぶつけて打撲、派遣会社は労災と認めず手続きを放棄、娘さんが応援し1ヶ月後やっと労災として扱われた。この事故は明らかに会社側の安全義務違反であり、12/20に団体交渉実施予定。
- ④ 富士宮の派遣会社からT工業に努めるペルー籍男性Kさんは、普段は自動運転する機械が不調のため手動に切り替え運転していたところ、不調で止まった機械に手を入れて直していたら、左手親指を挟まれて骨折する労災事故にあった。明らかに会社側の安全義務違反であり、損害を賠償を求めて団体交渉を12月22日に実施する予定。

<編集後記> コロナ禍2年目の今年が暮れていく。来年がどんな年になるのか？コロナ禍第6波到来も予想されていますが、不安は未だ当分続くのでしょうか？あるネットニュースではコロナ変異ウイルスは次々に変異種が現れ、それが余りにも早いため、コロナが生き続けるのに必要な遺伝情報さえ破壊されて自滅に向かうとする説があるそうです。来年はいつもの平静な生活が取り戻せるように祈るばかりです。